

藤内メンタルクリニック

和歌山県有田郡有田川町小島313-2
TEL.0737-52-7771 FAX.0737-52-7772
http://www.eonet.ne.jp/~shin-/clinic.htm

院長 インタビュアー
対談 **藤内 真一 × 萩原 流行**
[俳優]



INTERVIEW
SHINICHI FUJIUCHI × NAGARE HAGIWARA

ここらの問題を解決するパートナー。有田地域初のメンタルクリニック誕生！



このイメージを根強く持つておられるのが現実です。そこで私は通院に気後れされている方のお宅へ訪問して会話を重ねたり、ご家族と連携する形で認知症診断を行なうなど、一人一人の生活環境を把握することできめ細かい診療ができました。もちろん大学病院や総合病院における外来診療にもやり甲斐は感じていましたが、それ以上に小回りの利く、より地域の皆様に近い存在をと強く思うようになったわけです。

萩原 八月二日に開院されたばかりの藤内メンタルクリニックさんを訪ねました(対談日:平成二十二年八月二十日)。院長は大

阪府泉南市のご出身だそうです。まずは開業までの沿革からお聞かせ願えますか。

藤内 平成七年に和歌山県立医科大学を卒業後、和歌山医大付属病院、和歌山県立このろの医療センター、国保日高総合病院にて研鑽を積んでまいりました。

萩原 では、独立・開業を決意された動機は何だったのでしょうか。

藤内 私は和歌山県下の保健センターで取り組んでおられる「ここらの相談センター」にも積極的に参加し、保健センター窓口のみならず相談者のお宅に訪問して話を伺うといった経験をしてみました。その中で地域に密着したメンタル医療の必要性を強く認識し、クリニック開業への気持ちが高速したように思います。

萩原 病院での診療とはひと味違う医療を実践できたのでしょうか。

藤内 今や「心療内科」は一般的に認知されるようになりましたが、まだまだ多くの方、特にお年寄りにとっては「ここらの病は悪

く都心では心療内科が増えている傾向にあります。この辺りはいかがですか。

藤内 有田地域におけるメンタルクリニックでは第一号となります。「何となく調子が悪いけど、わざわざ大きな病院に行くほどではないし…」と我慢しておられる方々の身近な存在でありたいと考えています。

萩原 私みたいに都会の真ん中で孤軍奮闘している者からすると、「こんなのかな場所に住んでいるとストレスも溜まらないだろうなあ」と羨ましく思うのですが(笑)。

藤内 確かに環境だけを見れば、都会より田舎の方がストレスの原因は少なく感じるかも知れません。しかしどこに住んでいても、どんな環境下でも、何をストレスに感じるかは人それぞれで、例えば「近隣の目を気にしなければならぬ」と田舎暮らしを苦痛に感じる方もいらっしゃるでしょう。一概には判断できないのですよ。

萩原 なるほど。さて、実際に開業されての手応えはいかがですか。

藤内 ありがたいことに患者数は予想していたよりも多いです。メンタルケアの必要性を感じていた方が「ようやく地域にクリ

ニックができた。ちょっと相談してみよう」との感覚でお越しになるのだと思います。

萩原 ここらの病を経験した一人として、気軽に相談できる場所が身近にあるというのは本当にありがたいものです。

藤内 ここらの病も体と同様に早期発見・治療が肝心で、モヤモヤや不安、ストレス、眠れない、気分が落ち込む、意欲が出ないというような症状は大なり小なり多くの方が経験されていると思いますが、一人で抱え込むのではなく、早めに相談することが何より大切です。それだけに地域の方々が気負いなく足を運べる「あたたかい空間」であり続けたいですね。加えて認知症や不登校、あるいは「何となく体がだるい」など幅広いお悩みにも対応していますので、まずは気持ちを楽しんでご相談頂ければと。

萩原 私も勇気を持ったからこそ今こうして仕事ができますからね。では、院長が診療時に心掛けておられることは。

藤内 やはり患者さんのお話を丁寧に聞くことで、特に初診時はコミュニケーションの土台を築けるようじっくり時間を掛けま

す。また、様々な考え方があるといふ観点から、「あしなさい、こうしなさい」と一方的に指示するのではなく、それぞれの思いを肯定して差し上げることも不可欠です。

萩原 ところで、居心地のよい院内に驚いているのですが(笑)、院長のこだわりが随所にちりばめられているようですね。

藤内 多くの診療所を手掛けられた設計士さんに依頼し、白と茶をベースにした癒しの空間を実現してもらいました。また、待ち時間でも和みを感じて頂ければとロビーに熱帯魚の水槽を設置し、診察机や椅子も心地よく感じてもらえるようオーダーメイドでデザインしたものを揃えました。

萩原 駐車スペースが広いことも特徴ですね。では、最後にこれからの抱負をひと言。

藤内 ここらの問題への最良の解決策は、「気心の知れた親身な主治医を持つこと」と言っても過言ではありません。それだけに一人でも多くの方と良好な関係を築き、心身共にサポートできればと考えています。

萩原 ストレス社会で需要は増すばかりでしょう。末永いご活躍を期待しています。

①INFORMATION

地域の頼れる存在を目指します！

